# 進路だより

第４号　　Ｒ６.11.12
静岡県立西部特別支援学校
進路指導課

## ★中学部　職業・社会体験　★

中学部では、２年生、３年生を対象に、7月1日～7月12日までの間の1日を体験日として職業・社会体験を行いました。

体験を通して将来のイメージを持ったり、生活習慣、健康管理、マナー等、社会生活で必要な力は何かを考え、今後の生活に生かしたりしていくことを目標に、実施しました。具体的にどのような手順で行ったかと体験の様子をご紹介します。

**中学部では、こんな手順で体験先を決め、1日体験を実施しています！**

① 本人、保護者が、福祉事業所一覧や進路マップを参考に、教員にも相談しながら、体験してみたい事業所を選ぶ。

② 学校が、体験希望先に連絡し、日時の調整をする。生徒に対して、事前学習を行う。

③ 保護者が送迎し、教員が付き添って体験をする。

※保護者も、一部分見学をする。医療的ケアが必要な生徒は、保護者が医療的ケアの部分を担う。

④ 生徒と教員で、学校で振り返りをする。

※保護者とも、個別面談などで振り返りをし、今後の生活や進路を考える際の手掛かりとして生かしていけるようにする。

今年度は、生活介護事業所で17人、就労継続支援A型事業所で1人、就労移行事業所で1人が体験をしました。生活介護事業所では、レクリエーションや作業などを行いました。就労継続支援A型事業所では、自宅でリモートによるパソコン作業を体験、就労移行事業所では、ビジネスマナーやパソコンのデータ入力などを経験しました。

どの生徒も、普段とは違った環境の中、いろいろなことを感じ取りながら1日体験を行いました。